

公民館報 まつもと

発行
2023
5/30

松本市広報R5-37

- 問い合わせ 中央公民館
TEL 32-1132 FAX 37-1153
- 編集 公民館報編集委員会
- 印刷 株式会社 プラット

松本城の桜



テーブルにそろえた食材や道具

地域内の子どもが誰でも利用できる取組み、同一施設での所定の時間・回数の実施、毎回の食事提供、子どもの学習支援や保護者の生活相談など満たすべき要件があります。令和2年度以降、9団体から8団体増え、現在17団体が支援を受けています。

推進事業の概要

コロナ禍により社会活動が制限される中、市の「子どもの居場所づくり推進事業」は拡大し、新たに活動を開始した団体もあります。その一つ「笑和はづく」を紹介します。

市ではより多くの地域で活動する団体が増加するよう、支援体制を整えています。

「今日はさくら餅を作ります」主催者で元教員の大久保

公民館に響きます。今日の参加者は6組の親子14人です。

スタッフが用意した
材料が並び、レシピの
説明が続きます。いく
つかのテーブルに分か

れ、8人のスタッフが手伝います。飽きてしまった子や眠くなつた子のためのスペースも用意されています。

お話をスタッフと遊んでいる間に、薄皮が焼き上がりります。あんこを包むとそくら餅の完成です。初めて作って上手くなつた！ 皮がくつついたけれど、あんこが美味しい！ など、たくさんのはしゃぎ声が響いていました。最後に帰りの会をして解散となりました。

これから展望

子どもの居場所づくりは、地域づくりの観点からも大切な取組みです。この他にも独自の子ども支援活動が活発化しており、コロナ禍による制限にもかかわらず、ニーズは増大していると思われます。申込みをすれば、誰でもお申込みください。運営されれば良いですね。



親子仲良く力を合わせ

令和5年4月14～16日、寿台町会連合会は、50周年記念式典と恒例の桜寿祭を合わせて開催しました。今年度計画されている記念イベン
トの第1弾です。寿台体育館ふれあいセンター、福祉ひろばなど、地区スタッフが入念に準備した各会場に多くの住民が集い楽しみました。

住宅と分譲住宅が混在する
県内最大級のマンモス団地で
した。地区の連帯やきずなを
深めるために、当時から住民
間、世代間交流を積極的に進
めてきました。

雨上がりの好天に恵まれた16日に記念式典および祝賀会が催されました。蟻ヶ崎高校の書道パフォーマンスや、樽酒、焼きそば、フランクフルト、ソフトドリンク、豚汁、おにぎりの無料サービスなど、祝賀ムードにあふれました。

前日の雨の中組み立てた骨組みに
当日朝から準備する地区スタッフ

加可能なコースとして作り、親子連れ、友だち同士、高齢者も回っている姿が見られました。

増える「子どもの居場所づくり」

笑和はうすの活動とは

会の目標は「あそぶ・たべる

令和5年4月14～16日

「寿台町会連合会創立50周年記念式典」と「第3回寿台桜寿祭」開催



書道パフォーマンスと 大勢の参加者



今年4月に行われた夫婦堤音楽祭の様子

この度町会連合会長を仰せつかりました第11区町会の野竹寛と申します。コロナ禍で3年間地域の活動が衰退し、スポーツ、文化活動が思うようにできず、また子供たちには人生の記憶に残る大切な幼少期に、良き思い出を残してやれない歯痒さだけが心残りでなりません。5月からは2類感染症から5類に移行していく中で、子供たちの笑顔が戻り、活動がえてくる事を期待します。

町会連合会長就任にあたって

報館はだ



令和5年5月1日現在

世帯数 6,364戸
人口 15,401人
男 7,489人
女 7,912人

場として活動しています。
その後、学校週五日制が導入され本制度の趣旨の一つである「子供と地域のふれあい」の機会を作る場として、多くの方々に子供達の合唱、吹奏楽、また波田中学校美術部の作品を鑑賞していただきたいといふ思いから、平成14年より夫婦堤音楽祭を企画し、行政（町教育関係機関等）の皆様のご好意により開催でき、お陰様

で音楽祭も地域のイベントとして定着して20年になりまた。そんな中から、平成18年に波田少年少女合唱団を結成し、2014年第62回ヨーロッパ青少年音楽祭に日本代表として出場し、カテゴリー優勝▽特別金賞をいただき、今でもその時の興奮した気持ちが心に熱く残っています。子供達と素晴らしい旅が出来た事に心より感謝したいと思います。

さて、波田地域ではインフレ整備事業が始まります。市立病院建て替え、波田駅周辺整備、波田小学校長寿命化改良事業など、多岐に渡っています。住民の皆様、また子供達にはご不便をお掛けしますが町会連合会も工事の進捗状況を注視しながら住民の方々の負託に応えられるよう頑張っていきますので宜しくお願いします。

さや持ち味を自覚し、自分の存在価値を再認識します。そして自己肯定感を高め、自信をもつて目の前の課題に取り組んでいくと考えます。

ルに勤しみ、多くの人達と交流があり、ご指導いただきながら美味しいお酒を飲みスボーツ談義をしたものです。今私が大切にしている事は、平成7年に地元の有志で結成した山毛櫸の会の人達と、先輩方が戦時中、戦後に植えた櫻並木を地域の財産として考え、この財産を子供達、またその子供にも残していきたい思いから夫婦堤周辺の整備をしながら、地域の交流の

—波田中学校では、「町会運動・あいさつ運動」が毎年行われます。この活動には、全校で力を注ぎ、波田の町をきれいにし、あいさつの輪を広げています。この活動は、普段からお世話をなっている地域に感謝し、恩返しをしていきたいという思いから、20年以上前から行われています。

敵な生徒たち、そして地域とのつながりに深い伝統がある波田中学校に赴いたことを大変嬉しく思いました。申し遅れましたが、私はこの4月に波田中学校に着任いたしました渡邊享秀と申します。前任校は飯田市立竜峡中学校です。出身は松本市で、これまで県内各地の小・中・高校に勤務し

さや持ち味を自覚し、自分の存在価値を再認識します。そして自己肯定感を高め、自信をもつて目の前の課題に取り組んでいくと考えます。

さて、私はこの波田の地で生まれて70年になります。

波田中学校 校長
渡邊 亮秀

波田中学校 校長あいさつ

校入学式で、生徒会長が新入生に向けて述べた歓迎の言葉の一部です。波田中の生徒たちは、自分たちが地域から大切にされていること、だからこそ地域を大切に思いい、その地域のために力を發揮したいという意欲があること、そしてそのことに

てまいりました。よろしく
お願ひします。

さて、波田中学校はこの4
月に143名の新入生を迎
え、全校生徒435名でのス
タートとなりました。予測不
能と言われる現代社会にお
いて、私は子どもたちに「自
分の良さやもち味をいかし

公民館長就任のごあいさつ

波田公民館長 麻田 仁郎

新緑の眩しさと、さわやかな風が心地よさを感じる季節を迎えました。

日頃から地域のみなさまには、公民館活動に温かいご支援、ご協力をいただき、また、各種スポーツ行事や文化活動、さらには各種教室等々、多くのみなさまにご参加いただいておりのこと、心より厚く御礼と感謝を申し上げます。

この度、輪湖明公民館長の後任として、4月から波田公民館長に就任しました麻田仁郎と申します。よろしくお願ひ申し上げます。

コロナ禍のこの3年間は、度重なる感染拡大の影響で、多くの事業が中止等を余儀なくされ、不安な日々をお過ごしになられた方も多くいらっしゃいます。終息が見通せないコロナですが、引き続き感染に注意を払い、通常の社会生活をおくる動きが活発になっています。

昨年、3年ぶりに開催された波田文化祭では、地域のみなさまが笑顔で、生きいきと日頃の活動成果の発表や作品の紹介をされていたお姿を拝

見し、コロナに負けない力強く感じ取ることができました。

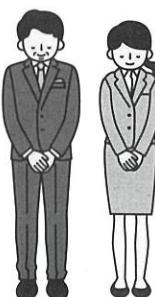
波田公民館は、従来からの各種団体や組織等のみなさまのお力添えをいただき、様々な教室や講座・スポーツ等を

「つどい」「まなぶ」「むすぶ」といった機会をつくり上げることを期待され、ご期待に沿えるよう地域のみなさまと一緒に歩んできました。「地域づくりは人づくり」と言われるように、地域のみなさまお一人おひとりが健康で、心豊かに、笑顔で安心して活動さ

れることが、地域のみなさまと一緒に歩んできました。「地域づくりは人づくり」と言われるように、地域のみなさまお一人おひとりが健康で、心豊かに、笑顔で安心して活動されることはこそが生きがいに繋がります。

そんな、地域のみなさまの生きがいづくりを少しでもお支えできるよう、職員一同、「目標」を大切に、より魅力ある活動を、地域のみなさまと一緒にくりあげていきたいと存じます。

今後とも、ご支援、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。



プラスチックごみはリサイクルへ！



大型プラスチック資源（長辺が30cmを超えるもの）	
大型プラスチックの指定品目（全29品目）	
分類	
台所用品	お盆、ざる、タイマー、湯引け、まな板、水切りかご、冷蔵庫
入浴用品	風呂ふた、風呂いり、洗顔器、ペーパーバス
衛生用品	洗濯ばこ、ちりとり、カバ
収納用品	衣類ケース、ココナット、シューズボックス、書籍ケース
家庭用品	洗濯かご、ごみ箱、開封カバー、ボリダック、レザーケース
園芸用品	植木鉢、プランター、グロー
駄菓子	クーラーボックス、ソリ
車用品	ホイルカバー
規定期日	
月1回	出先場所
収集日程表を確認してください。 資源物のごみステーションによる ごみステーションに出す際、指定袋等に入れずそのまま出してください。 ごみ当込1m以上のものは、必ずクリンゼンセンターへ持ち込みをお願いします。（有料）	



4月からプラスチック資源ごみの出し方がかわりました。
ごみの変化についても、可燃ごみに出ていたプラスチック類ごみは、黄色指定袋へ。（歯ブラシ、プラハンガー、タッパー等）
大型プラスチック資源全29品目（長辺が30cmを超えるもの）は、月1回4週目、大型プラスチック回収日に袋に入れず、ゴミステーションへ。黄色指定袋へ入れて出します。
黄色指定袋へ入れて出します。
黄色指定袋は今後「プラスチック資源専用袋」となりますが、今までの「容器包装プラスチック専用袋」とな
ります。
プラスチックごみは、今までどおり黄色指定袋でゴミステーションへ出していただい
て構いません。
テーションへ出していただい
て構いません。

近年、投票率が年々減少しています。無投票になる選挙区があるなか、投票出来る機会を放棄するのもとても残念に思っています。
選挙は、国民が政治に参加する最も重要な基本的な機会です。以前、松本市明るい選挙推進協議会より推進委員に委嘱され、研修会に参加して選挙について学ばせていただきました。参議院議員通常選挙や、衆議院議員総選挙など統一地方選挙での投票率は長野県19市のうち松本市は県内平均を下まわり残念ながら毎回、下位に定着しています。ある選挙の投票日、投票管理者として貴重な体験をさせていただきました。
朝7時から夜9時すぎまで、長時間に及びましたが、当日の投票率の低さに愕然としました。
朝7時から夜9時すぎまで、長時間に及びましたが、ただけたらと思いました。どうか皆さん、投票に参加していませんか。

ま
け
は

4月に長野県議会議員選挙と、松本市議会議員選挙に行かれましたか。

写真でつづる まつもと今昔⑥

～時代の要求に応えて～



昭和2年 完成したころの様子

釜トンネルは、大正池の水を霞沢発電所に送るための、送水管を運ぶ目的で作られた。工事終了後は道路用に整備され、昭和8年に大正池までバスの運行が始まった。



令和5年4月26日撮影

当初は狭く急傾斜で、その上信号による交互通行で不便だった。少しづつ改良を続けていたが、新しいトンネルが求められて、平成17年に現在の釜トンネルが完成了。

と明日の予定も記入している。雑草対策は厳寒期を除いてルーティンである。圃場に除草剤を使わないので、三角ホー^ヤや除草バーナーで対策している。雑草の種類によって対処方法を変えるようにもなった▼有機野菜作りは15年の年月が必要といわれている。まだ先は長いが、有機質で育った健康野菜とともに自身の健康にも気を使って、達者で長生きできれば幸いである。

自由な作品との対話

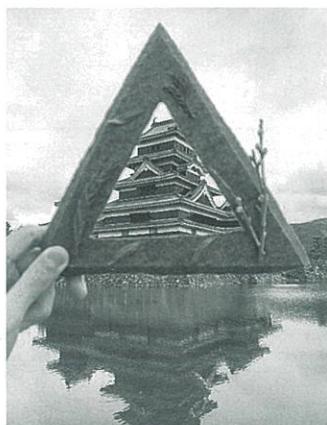
「松本には大学やサッカー
チームがあり、オーケストラの
演奏にもふれられる。地域への
意識も高く、人が住むために
大事なことがそろっている」と
話すのは、信州大学の金井教
授（人文学部）です。現代美術
を研究分野にする金井教授が
松本の地で学生を巻き込みな
がら、美術を多角的にとらえ
た取り組みを行います。

コラボしたワークショッピングや
展覧会の実施です。昨年の
12月と今年の1月には版画
家の常田泰由さん^{じょうた やすよし}の協力のも
と、画用紙に自由に絵を描き、
バラバラにして束ねる、本づ
くりのワークショップを行いました。
参加者は、型にはま
らない美術の面白さを体験す
ると同時に、アーティスト・
参加者・学生が作品を介して
対話する場になっています。



世界にひとつだけの本づくり

金井教授のもとで学ぶ、鳥山とも
倫史さん（人文学部4年生）
は「枠ワク切り取るまち歩く」
を企画しました。この企画は、
フェルトに市内で
拾つた落ち葉や木の
実を貼り付けて作つ
たフレームから、ま
ちをのぞいて楽しむ
ものです。日常のな
かの当たり前を芸術
的に捉えるきっかけ
になっています。



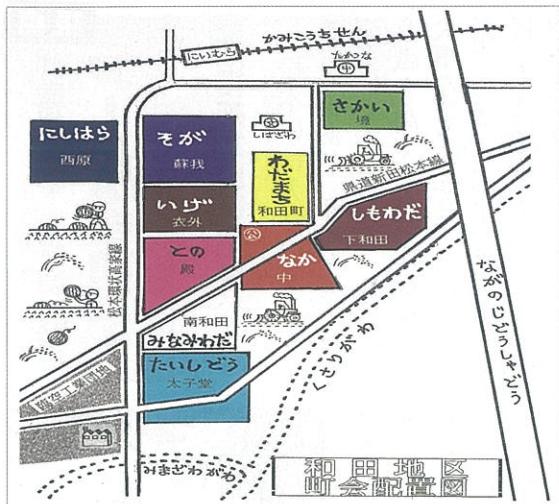
三角フレームに
きれいに収まる松本城

の和菓子屋や大学構内の赤レンガ倉庫などで実施しました。その場所の雰囲気、歴史を活かした展示をアーティストと共につくり上げています。

鳥山さんは、大学での学びを通して「凝り固まつたバイアス（先入観）がなくなり、アートって自由だと思うようになった」と話します。金井教授と学生が提案する、自由な芸術が、松本のまちを、違った視点から捉え直しています。

おこひる

農業を本格的に始めて数年が経過した。私が目指しているのは、一部の作物を除き有機野菜作りである。当初は2トンの堆肥



近代から現代においても、松本市の文化・教育の一拠点となり、市で初めて開館した「松本空穂記念館」が文化講座などが行われています。和田地区は、昭和の大合併（昭和29年の頃は、水の恩恵を受け、稲作中心に酪農や養蚕などの農耕が複合扇状地に立地し、蘇我・衣外・殿・南和田・太子堂・中・和田町・下和田・境・西原の10町会で構成されています。令和5年4月1日現在4,134人・1,510世帯が居住しています。

明治維新まで、178年もの間、幕府の直轄領でした。近民の間に比較的自由な気風と進取の気性が育つたものと思われます。

コロナ禍で地域活動も停滞しました。行事の中止で住民相互のつながりが薄れることを懸念しています。行事の再開にあたり、全世帯を対象にアンケート調査を行いました。これを機会に、さまざまな思いや期待が反映できる活動を目指してゆきます。

昭和7年、東京在住の和田出身者が、心に生き続ける故郷の思いを「東京和田会」として発足させました。以来、毎年東京で総会が開催され、地区からも代表者が参加し親睦を深めています。

田公民館に隣接する「歌碑公園」には、木立の中に窪田空穂・太田水穂をはじめとする和田ゆかりの文化人10人の歌碑・句碑が建てられています。

松本平のほぼ中央、梓川と鎌川に挟まれて、穏やかに広がる複合扇状地に立地し、蘇我・衣外・殿・南和田・太子堂・中・和田町・下和田・境・西原の10町会で構成されています。令和5年4月1日現在4,134人・1,510世帯が居住しています。



「歌碑公園」にはたくさん碑があります

松本平の野鳥たち

オオルリ (2022.5 松本市入山辺 写真提供:信州野鳥の会)

スズメよりやや大きい。幸せを運ぶ青い鳥として有名。日本三鳴鳥(ウグイス、コマドリ、オオルリ)の中でも、ルリ色が美しく複雑な鳴声が魅力的な日本を代表する夏鳥。ほぼ全国の溪流沿いの森林などで姿をみることができる。樹木の梢など目立つ場所で「ピー チュリー ジジ」「ピーリー リー」「ピールリピールリ チン」など澄んだ声で良く鳴く。アルプス公園ではキビタキとオオルリの競演が見事。

表紙について

松本城の桜

今年は例年より非常に早く開花し、撮影時はちょうど見ごろでした。お天気も良くて、お客様もたくさん訪れていました。見どころは、外堀沿いの桜並木を橋の上から見るのがおすすめです。

(撮影 2023.4.3 松本城)

歴史探訪 探るう松本 和田地区 34

古くから文化が開け、教養を尊ぶ気風の和田地区は、多くの文化人を輩出しています。

地区の概要

作を中心に酪農や養蚕などの農地建設地区に指定し造られた昭和57年、松本市が工業団地最大の規模となり発展を続けています。

培われた文化

明治維新まで、178年もの間、幕府の直轄領でした。近民の間に比較的自由な気風と進取の気性が育つたものと思われます。

これからのおまけ